

第1回

将来を見据えて、発達凸凹のある子どもの 主体性と自己理解を育む

～得意・好き・がんばり・強みを持つことの大切さ～

【定員 150 名、先着順】

2020年2月22日(土) 14時～15時45分 (受付 13時30分～)

講師：岡田 克己 (横浜市立仏向小学校通級型指導教室 教諭)

司会：森平 直子 (相模女子大学/子育て支援センター)

岡田先生は、横浜市の小学校通級型指導教室の教員であり、医療・福祉と教育との連携推進事業も担っておられます。

通級では、発達凸凹のある子どもたちに対して、「前向きな自己理解」支援を実践されています。

また、子ども同士で「お互いの願いを実現するためにはどうしたらよいか？」を話し合い、互いに励まし合い、助言もし合う、という

独自のカリキュラムを開発されています。今回は、これらの取り組みの紹介を通じて、学齢期の発達凸凹の特性を念頭に

子どもたちに主体性と自己理解を育むためのポイントについてお話しいただきます。

申込方法：相模女子大学子育て支援センターホームページ上の専用フォーム

<https://forms.gle/mApuXk1gh8iFuSHFA> (スマートフォンは二次元バーコード利用可)

申込期間：2020年1月14日(火)～2月13日(木) ※定員に達した時点で締め切らせていただきます。

問合せ先：上記の専用フォーム または 相模女子大学連携教育推進課 電話 042-813-5055

※天候や災害などで開催できない場合、上記の専用フォームでご案内します。ご確認ください。

第1回会場
相模女子大学
マーガレットホール4階
「ガーデンホール」
小田急線
相模大野駅北口より
徒歩10分



相模原市発達障害支援センター・相模女子大学子育て支援センター合同企画

共催：相模原市教育委員会

さがみはら発達障害連続セミナー2019

発達障害のある人にとっての豊かな人生とは？

参加費無料

4月2日は「世界自閉症啓発デー」です。相模原市発達障害支援センターでは毎年、この日に向けて講演会を開催し、発達障害への理解促進を図っています

第2回 相模原市発達障害啓発講演会 【定員 300 名、先着順】

発達障害があっても、ノープロブレム！

～すくすく育て就職した本人からのメッセージ～

2020年3月14日(土) 13時30分～16時30分 (受付 12時30分～)

講師：綿貫 愛子 (NPO法人東京都自閉症協会・役員、NPO法人リトルプロフェッサーズ・副代表、臨床発達心理士)

司会：日戸 由刈 (相模女子大学/子育て支援センター)

綿貫先生は、自閉スペクトラムの当事者であり、臨床発達心理士として学校への巡回支援、成人期の余暇活動支援などに
取り組まれておられます。とりわけ余暇活動支援は全国でも先駆的でオリジナリティの高い実践をされており、注目を集めています。

今回綿貫先生には、ご自身の幼年期や学齢期のエピソードを交え、成人期に向けての自己理解や、

進路選択など人生の節目で発達障害のある方にとってどのようなことが大切なのかをお話しいただきます。

豊かな人生を送るためのヒントを、たくさん聴ける貴重な機会になると思います。

(協力：相模原市自閉症児・者親の会)

申込み先：相模原市コールセンター 電話 042-770-7777 (8時～21時 年中無休)

申込期間：2020年2月15日(土)～3月13日(金)

問合せ先：相模原市発達障害支援センター

電話 042-756-8411(直通) 月～金(祝日除く) 8時30分～17時

講演会当日には…相模原市自閉症児・者親の会による「作品展示コーナー」
市立図書館による「発達障害に関する書籍の紹介コーナー」も設けます！



第2回会場 相模原市
あじさい会館
JR 相模原駅南口から
バスで「市民会館前」
下車すぐ
または「市役所前」
下車徒歩1分

